令和５年度　一宮研伸大学開示情報

学校法人研伸学園　情報公開に関する規程に基づく、本学園の開示情報について、以下のとおり公開します。

目次

一　大学の教育研究上の目的に関すること。　２
二　教育研究上の基本組織に関すること。　３
三　教員組織、教員の数及び各教員が有する学位、専門分野及び業績等に関すること。　４
四　看護学部及び看護学研究科の入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること。　１１
五　授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること。　１３
六　学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること。　１５
七　校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること。　２２
八　授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること。　２３
九　大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること。　２４
十　その他、本学の教育研究情報で学長が公開を必要と認めること。　３０
十一　寄附行為の内容の公開　３１
十二　監事の監査報告書の内容の公開　３１
十三　財産目録、貸借対照表及び収支計算書の公開　３１
十四　事業報告書の公開　３１
十五　役員名簿（理事・監事及び評議員の氏名）の公開　３１
十六　役員報酬等の支給の基準　３１
十七　その他、法人の情報で理事長が必要と認めること。　３４

令和５年度　一宮研伸大学開示情報

一　大学の教育研究上の目的に関すること。

１．一宮研伸大学の理念（教育研究上の目的）

豊かな人間性と高度な専門性で地域に貢献する。

２．一宮研伸大学看護学部看護学科　教育目標

看護学部看護学科の教育目的を達成するために、育成する人材の能力に基づき、以下の５つの教育目標を設定した。

①人間力の育成

豊かな感性と幅広い教養を基盤として、生命の尊重と人間の尊厳を基本とした倫理観を持ち、人々の文化的背景や価値観を理解し寄り添い、他者への気遣いや思いやりを持って他者との人間関係を築く能力を育む。

②論理的思考力・課題解決に向けて行動する力の育成

現代の諸科学の基本的な理解を基盤にして、根拠に基づいて論理的に思考し、課題発見とその解決のために課題の解決や研究に向けて行動する能力を育む。

③最適な看護を実践する能力の育成

看護師としての倫理観と科学的根拠に基づく看護判断により、地域や人々が必要とする健康の促進・健康回復を目指して最適な看護を実践する能力を育む。

④多様な人々との連携や協働を実践する能力、地域社会に貢献する姿勢の育成

地域の保健・医療・福祉チームにおいて、専門職としての自覚を持って他職種や医療チームとの協働や連携を実施する能力、及び地域社会が必要とする最適な医療・看護の提供に努力し、地域社会に貢献する姿勢を育む。

⑤生涯にわたる自己学修力・研究力の育成

最適な看護を提供するために、看護の質の向上を目指して研究する能力と生涯にわたって自ら学修していく姿勢を育む。

令和５年度　一宮研伸大学開示情報

二　教育研究上の基本組織に関すること。

１．設置学科・課程の名称

大学名	一宮研伸大学(Ichinomiya Kenshin College)
学部・称	学　部：看護学部 (School of Nursing) 学　科：看護学科 (Department of Nursing)
研究科・称	大学院：一宮研伸大学大学院 (Graduate School of Ichinomiya Kenshin College) 研究科：看護学研究科 (Graduate School of Nursing Science) 専　攻：看護学専攻 (Master’ s Programs in Nursing Science)
学位名	学　部：学士(看護学) (Bachelor of Science in Nursing) 研究科：修士（看護学） (Master of Nursing Science)

令和５年度　一宮研伸大学開示情報

三　教員組織、教員の数及び各教員が有する学位、専門分野及び業績等に関すること。

１．専任教員組織及び教員数

所属領域名		教養科目群	専門科目群※1	基礎看看護学	療養生活支援看護学	急性期看護学	高齢者看護学	小児看護学	母性看護学助産学	精神看護学	
教　授	男	1	2								3
教　授	女		1	2	2		1		1	1	8
准教授	男										0
准教授	女				1	1			1		3
講　師	男	1	1		1					1	4
講　師	女			3	1	1	1	2	1		9
助　教	男									1	1
助　教	女			1	1		1		1		4
小計	男	2	3	0	1	0	0	0	0	2	8
	女	0	1	6	5	2	3	2	4	1	２４
	計	2	4	6	6	2	3	2	4	3	３２
助　手	男	0									0
助手※2	女	1									1
合　計	男	8									３３
	女	２４									

※１　専門科目群は専門基礎科目群を含む

※２　助手は　専門科目群に所属

（令和５年５月１日現在）

令和５年度　一宮研伸大学開示情報

２．看護学部　年齢別教員数

	２０歳代	３０歳代	４０歳代	５０歳代	６０歳代	７０歳代	合計
男	0	1	3	2	2	0	8
女	1	1	5	9	7	2	２５
合計	1	2	8	１１	9	2	３３

（令和５年５月１日現在）

３．看護学研究科　年齢別教員数（上記の者のうち、研究科専任の者の数）

	２０歳代	３０歳代	４０歳代	５０歳代	６０歳代	７０歳代	合計
男	0	0	1	1	2	0	4
女	0	1	0	5	6	2	１４
合計	0	1	1	6	8	2	１８

（令和５年５月１日現在）

４．看護学部　職階別教員数

	教授	准教授	講師	助教	助手	合計
男	3	0	4	1	0	8
女	8	3	9	4	1	２５
合計	１１	3	１３	5	1	３３

（令和５年５月１日現在）

５．看護学研究科　職階別教員数（上記の者のうち、研究科専任の者の数）

	教授	准教授	講師	助教	助手	合計
男	3	0	1	0	0	4
女	7	3	4	0	0	１４
合計	１０	3	5	0	0	１８

（令和５年５月１日現在）

６．看護学部　専任教員と非常勤教員の比率

比率	専任教員	非常勤教員
男	約２１％	約７９％
女	約５４％	約４６％

（内訳）	専任教員	非常勤講師	合計
男	８人	３１人	３９人
女	２５人	２１人	４６人
合計	３３人	５２人	８５人

（令和５年５月１日現在）

令和５年度　一宮研伸大学開示情報

７．看護学研究科　専任教員と非常勤教員の比率

比率	専任教員	非常勤教員	
男	約２０％	約８０％	
女	約５０％	約５０％	
（内訳）	専任教員	非常勤講師	合計
男	４人	１６人	２０人
女	１４人	１４人	２８人
合計	１８人	３０人	４８人

（令和５年５月１日現在）

令和５年度　一宮研伸大学開示情報

８．各教員が保有する学位、専門分野及び業績等

NO.	職位	氏名	保有学位	①看護学部領域 ②看護学研究科　担当の有無	研究業績等（リサーチマップにて情報公表）
1	学長 教授	大久保清子	博士	①専門科目群 ②あり	https://researchmap.jp/k.ohkubo.t
2	学部長 教授	榊原久孝	博士	①専門基礎科目群 ②あり	https://researchmap.jp/read0011088
3	研究科長 教授	安藤詳子	博士	①専門科目群　療養生活支援看護学 ②あり	https://researchmap.jp/SA2022ikc
4	教授	石井成郎	博士	①教養科目群 ②あり	https://researchmap.jp/collabon
5	教授	大谷　恵	修士	①専門科目群　精神看護学 ②あり	https://researchmap.jp/megyukai
6	教授	櫻井　武	博士	①専門基礎科目群 ②あり	https://researchmap.jp/sakurai-2-takeshi
7	教授	下平唯子	博士	①専門科目群　療養生活支援看護学 ②あり	https://researchmap.jp/read0181986
8	教授 （准教授）	鈴江智恵	博士	①専門科目群　基礎看護学 ②あり	https://researchmap.jp/suzue.t ※大学院での職位が准教授
9	教授	田辺圭子	博士	①専門科目群　母性看護学 ①助産学	https://researchmap.jp/read0153190
10	教授	野村千文	博士	①専門科目群　高齢者看護学 ②あり	https://researchmap.jp/read0182968

令和５年度　一宮研伸大学開示情報

NO.	職位	氏名	保有学位	①看護学部領域 ②看護学研究科　担当の有無	研究業績等（リサーチマップにて情報公表）
11	教授	藤本悦子	博士	①専門科目群　基礎看護学 ②あり	https://researchmap.jp/harunourara/
12	准教授	小倉久美子	修士	①専門科目群　急性期看護学 ②あり	https://researchmap.jp/ogura_18
13	准教授	小島徳子	博士	①専門科目群　母性看護学 ①助産学 ②あり	https://researchmap.jp/20130326
14	准教授	増永悦子	博士	①専門科目群　療養生活支援看護学 ②あり	https://researchmap.jp/e.masunaga
15	講師	伊東裕康	博士	①専門基礎科目群	https://researchmap.jp/hiroyasu_ito
16	講師	岩井美世子	修士	①専門科目群　急性期看護学	https://researchmap.jp/013796-hnc
17	講師	大瀬恵子	修士	①専門科目群　母性看護学 ①助産学 ②あり	https://researchmap.jp/read0155471
18	講師	小澤　直樹	博士	専門科目群　療養生活支援看護学	https://researchmap.jp/n.ozawa
19	講師	河村江里子	修士	①専門科目群　小児看護学	https://researchmap.jp/e-kw
20	講師	後藤美恵	修士	①専門科目群　基礎看護学	https://researchmap.jp/m.goto.t

令和５年度　一宮研伸大学開示情報

NO.	職位	氏名	保有学位	①看護学部領域 ②看護学研究科　担当の有無	研究業績等（リサーチマップにて情報公表）
21	講師	佐久間美里	修士	①専門科目群　高齢者看護学 ②あり	https://researchmap.jp/m-sakuma
22	講師	佐々木久美子	博士	①専門科目群　基礎看護学	https://researchmap.jp/_3114
23	講師	田畑真澄	修士	①専門科目群　基礎看護学 ②あり	https://researchmap.jp/mtabata
24	講師	田前英代	修士	①専門科目群　小児看護学	https://researchmap.jp/teitamae
25	講師	馬場美穂	修士	①専門科目群　療養生活支援看護学 ②あり	https://researchmap.jp/m.baba
26	講師	肥田　武	修士	①教養科目群 ②あり	https://researchmap.jp/hidatakeshi
27	講師	村岡大志	修士	①専門科目群　精神看護学	https://researchmap.jp/taishi-0910
28	助教	小野寺美佳	修士	①専門科目群　療養生活支援看護学	https://researchmap.jp/19870711
29	助教	髙島孝晃	修士	①専門科目群　精神看護学	https://researchmap.jp/t.takashima
30	助教	野々山英里	修士	①専門科目群　母性看護学 ①助産学	https://researchmap.jp/e-nono/
31	助教	横井　優子	修士	①基礎看護学	https://researchmap.jp/yu-ko-y-2020

令和５年度　一宮研伸大学開示情報

NO.	職位	氏名	保有学位	①看護学部領域 ②看護学研究科　担当の有無	研究業績等（リサーチマップにて情報公表）
32	助教	川井伸恵	修士	①専門科目群　高齢者看護学	https://researchmap.jp/kawai-nobue/
33	助手	中山八重	学士		https://researchmap.jp/yaemonn
専任教員合計（学長含む）					３３名

職位毎の五十音順

（令和５年５月１日現在）

令和５年度　一宮研伸大学開示情報

四　看護学部及び看護学研究科の入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること。

１．一宮研伸大学　入学者受入方針（アドミッションポリシー）

本学が求める学生は、本学の建学の精神と学部の理念に共感し、自ら考え行動しようとする学修意欲の高い学生である。人々の健康な生活への支援と生活の質（ＱＯＬ）の向上に強い関心と看護への目的意識を持った以下の人に、広く門戸を開く。

①自ら考え探求する姿勢や学修意欲が高い人
②他者の考えを傾聴して生き方や意見を尊重できる人
③看護を探求する目的意識を持つ人
④人々や社会への貢献に関心がある人
⑤自ら健康管理をしようと努力する人
⑥非喫煙者

（令和５年５月１日現在）

２．看護学研究科　アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

ＤＰ・ＣＰの目標・内容を踏まえ、以下の基本的知識、関心や態度を身に付けている者を受け入れる。

１．倫理的配慮を踏まえた看護実践の基礎を身につけている人
２．保健医療チームの一員として、多職種と連携して協働することができる人
３．看護職として社会貢献を志向し、主体的に生涯学修に取り組む意欲のある人
４．保健医療に関する問題意識を有し、看護研究に取り組む意欲のある人

（令和５年５月１日現在）

３．禁煙対策

医療職をめざす者として、一宮研伸大学では、開学から受験資格に「非喫煙者」という項目を掲げています。これは看護の心得を学ぶ学生のうちから精神面においても健康を意識できる環境であるとともに、将来、健康と命を守る医療従事者として活躍するための、大事な条件のひとつとして考えているからです。

喫煙は、喫煙者自身の健康を害するだけでなく、受動喫煙等により非喫煙者の健康をも害しています。また、医療費の増大など国民に不要の社会的コストを負担させる要因ともなっています。本学の取組みと意思を理解・支持してくれる学生さんをお待ちしています。

（令和５年５月１日現在）

令和５年度　一宮研伸大学開示情報

４．看護学部の入学者数、収容定員、在学者数、卒業（修了）者数、進学者数、就職者数

入学者数 （編入学含）	収容定員 （編入学含）	在学者数 （学年合計）	卒業（修了） 者数	進学者数	就職者数
８６人	３２０人	３５２人	８４人	２人	７８人
（０人）	３３２人				

（令和５年５月１日現在）

５．看護学研究科の入学者数、収容定員、在学者数、卒業（修了）者数、進学者数、就職者数

入学者数	収容定員	在学者数 （学年合計）	卒業（修了） 者数	進学者数	就職者数
６人	※1	６名	※2	※2	※2

※１収容定員は、設定が１２名ですが、学年進行中のため、令和５年度は６名となります。

※２学年進行中のため、対象者となる数がありません。

（令和５年５月１日現在）

６．収容定員充足率

学部等の名称	収容定員 （編入学定員）	(A) 在学生数 （編入学）	(B) 収容定員 （編入学）	(A/B*100) 収容定員充足率
看護学部 看護学科	８０人 （３年次６人）	３５２人 （内　０人）	３３２人 （内１２人）	約１０６％※1
看護学研究科 看護学専攻	６名 ※２	６名	６名 ※２	１００％

※１編入学者含む

※２収容定員は、設定が１２名ですが、学年進行中のため、令和５年度は６名となります。

（令和５年５月１日現在）

令和５年度　一宮研伸大学開示情報

五　授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること。

１．看護学部　カリキュラム編成方針（カリキュラムポリシー）

本学の教育理念に基づき、以下のカリキュラム（教育課程）を編成します。

１.「人・看護職としての倫理と品格」を養い、幅広い人間性を育むために、教養科目群に、人間・社会学、コミュニケーション、自然科学の関連科目を幅広く配置する。また、自ら学び、知識を習得する基礎技能を学ぶ『アカデミックスキルズ』『情報科学』『教養ゼミナール』を１年次に配置する。

２.「専門的知識・技術、論理的思考力」を有し、「人々の健康の保持増進と生活の質の向上に貢献」できる看護実践力を育むために、専門基礎科目群、専門科目群を配置する。専門基礎科目群には、人体の構造と機能、疾患の成り立ちと回復の促進、健康支援と保健医療システムを、専門科目群には、看護の基礎、看護の実践、看護の統合と発展の関連科目を配置する。また、臨地実習機関との緊密な連携により、演習や臨地実習を配置する。

３.「根拠に基づく論理的思考力」を発展させるために、連携科目群に『教養ゼミナール』『卒業研究（卒論ゼミナール)』などのゼミナール形式の自律型少人数学修科目や『看護研究法』などを配置する。専門科目群では、演習や臨地実習の学修方法としてシミュレーション学修を実施する。

４．病院から地域在宅分野まで包括的に理解し、「地域社会に貢献できる看護実践力」を育むため、『地域看護論』『家族の健康と看護』『在宅看護論』『エンド・オブ・ライフ看護論』を配置するとともに、各専門科目において関連する地域在宅分野まで包含した講義・演習・実習を配置する。

５．地域の周産期医療を担う助産師の育成のための科目を配置する。

（令和５年５月１日現在）

令和５年度　一宮研伸大学開示情報

２．看護学研究科　カリキュラム編成方針（カリキュラムポリシー）

本研究科は、ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を身につけるため、以下の方針でカリキュラムを編成する。

〈教育課程編成方針〉

すべての専門性の基礎となる共通科目を１年次に配置し、あわせて各専門分野・領域の専門性を向上させるための専門科目を１年次に配置する。それらを修得しながら専門性をさらに探究する研究科目を１年次後期から２年次に配置する。

専門科目は、“地域創成ケアシステム”と“地域生活創成看護”の２分野で構成する。“地域創成ケアシステム”分野は、「看護マネジメント学」「看護科学」の２領域からなり、“地域生活創成看護”分野は「次世代育成看護学」「急性・療養生活支援看護学」「メンタルヘルス支援看護学」「がん療養生活支援看護学」の４領域からなる。各領域に「特論Ⅰ～Ⅱ」「演習」を配置する。

１．地域社会の多様なヘルスケアニーズに応じて、倫理観や科学的根拠に基づく看護実践をするための知識を構築する科目として「看護倫理」「死生学」「看護理論」「フィジカルアセスメント」各領域の「特論Ⅰ～Ⅱ」「演習」などを配置する

２．保健医療チームの一員として多職種と連携・協働し、リーダーシップを発揮する際に必要な知識やスキルを身に付ける科目として「地域創成ケアシステム論」「コンサルテーション論」などを配置する

３．ヘルスケアシステムの変革を理解し、必要とされるマネジメント能力を培うための科目として「看護管理論」「看護マネジメント学特論Ⅰ～Ⅱ」などを配置する

４．地域や臨床現場が抱える多様な課題を的確に把握し、課題解決に結びつく研究能力を培う科目として「看護研究法Ⅰ～Ⅱ」「医療英語特論」「看護学特別研究」を配置する

５．看護専門職の後進育成のため、学修者のニーズにあった教育方法や教育的関わりに必要な科目として「看護教育論」「看護科学特論Ⅰ～Ⅱ」などを配置する

〈実施方針〉

各授業科目にはアクティブラーニングやシミュレーション教育、地域でのフィールドワークを積極的に導入する。

〈評価方針〉

学修成果は、到達目標・評価方法等を事前にシラバスに明示し、定期試験や課題レポート、プレゼンテーションの内容等により総合的に評価・判断する。

令和５年度　一宮研伸大学開示情報

六　学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること。

１．看護学部　学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

本学では、本学が定めた卒業要件に必要な科目の単位を全て修得し、以下の能力を身につけた学生に対して学士（看護学）の学位を授与する。

１．高い倫理観を持ち人間の生命と尊厳及び権利を尊重し行動することができる
２．人々からの信頼を得るための品格を養うため、誠実に、礼節をもって行動することができる
３．根拠に基づく専門的知識・技術、ならびに論理的思考力による臨床推論により、対象の健康の保持増進、疾病予防、健康回復、ＱＯＬ向上に寄与する看護を提供することができる
４．保健・医療・福祉のチームの一員として、各専門職の役割を理解し、連携・協働して、看護職の役割を考え果たすことができる
５．地域の特性を理解した上で、地域に貢献する活動を志向することができる
６．自己を研き継続的に学ぶ姿勢を身につけることができる
７．人としてまた専門職として、自らの力を伸ばすことができる

（令和５年５月１日現在）

２．看護学研究科　学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

本研究科では、所定の単位を修得し、修士論文の論文審査および最終試験に合格し、以下の能力を身につけた者に対して修士（看護学）の学位を授与する。

１．人間としての尊厳と権利を尊重した倫理観に基づき、看護学の幅広い知識と科学的根拠に裏付けされた看護を実践する能力を有する
２．保健医療チームの一員として多職種と連携・協働し、リーダーシップを発揮する能力を有する
３．ヘルスケアシステムの変革に対応し、組織を管理運営できるマネジメント能力を有する
４．地域や臨床現場が抱える、多様な看護実践上の課題解決に向けた研究能力を有する
５．看護専門職を育てる教育的志向を有し、看護学の発展に寄与できる教育能力を有する

（令和５年５月１日現在）

３．看護学部学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準

①学修の成果に係る評価

各教科のシラバス参照

②卒業又は修了の認定に当たっての基準（学則）

一宮研伸大学　学則の第２７条及び第２８条のとおり

（卒業の要件）

第 27 条　本学を卒業するためには、学生は４年以上在学し、別表２の定めるところにより、所定の単位を修得しなければならない。

（卒業）

第 28 条　本学に４年以上在学し、本学則の定める授業科目及び単位数を修得した者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

２　学長は、卒業を認定した者に対して、卒業証書を交付する。

※参考

学則　別表２　卒業要件に必要な履修科目の内訳と単位数

分野(区分)	全課程 必修科目	看護師課程		助産師課程	
		選択科目	卒業要件	選択科目	国家試験 受験資格 取得要件
教養科目群	17 単位	10 単位以上	27 単位以上	10 単位以上 (うち課程必修 ３単位※※)	27 単位以上
連携科目群	3 単位	－	3 単位以上	－	3 単位以上
専門基礎 科目群	24 単位	1 単位以上	25 単位以上	1 単位以上	25 単位以上
専門科目群	70 単位	1 単位以上 (うち選択必 修３単位※)	71 単位以上	24 単位以上 (うち課程必修 23 単位)	94 単位以上
計	114 単位	12 単位以上	126 単位以上	35 単位以上 (うち課程必修 26 単位)	149 単位以上

※　課程必修：助産師課程選択の学生のみ、必修科目として履修する単位数。

令和５年度　一宮研伸大学開示情報

４．看護学研究科　学修**の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準**

①学修**の成果に係る評価**

各教科のシラバス参照

②卒業又は修了の認定に当たっての基準（学則）

一宮研伸大学大学院　学則の第３３条のとおり

（修了要件）

第３３条　修士課程の修了の要件は、大学院修士課程に２年以上在籍し、所定の在学年限を満たし、別表１-１の定めるところにより、所要の授業科目について所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文についての審査及び試験に合格した者に対し、研究科教授会の議を経て、修了を認定する。

学則　別表１－１　修了要件に必要な履修科目の内訳と単位数

分野区分	地　域　生　活　創　成　看　護　分　野					
	地域創成ケアシステム分野			専門看護師育成（がん看護CNS）		
科目区分	必修科目	選択科目	卒業要件	必修科目	選択科目	専門看護師の認定要件
共通科目	７単位	１０単位以上	１７単位以上	１３単位	６単位以上 〈注2〉	１９単位以上
専門科目	－	８単位以上 〈注１〉	８単位以上	２４単位	－	２４単位以上
研究科目	６単位	－	６単位以上	６単位	－	６単位以上
合計	１３単位	１８単位以上	３１単位以上	４３単位	６単位以上	４９単位以上

注１．①各専攻領域の特論Ⅰ、特論Ⅱ及び演習で６単位を履修する。

②他領域の特論Ⅰ、特論Ⅱ、実践論Ⅰ又は実践論Ⅱから２単位以上選択し、履修する。

注２．選択必修５科目（看護理論、看護倫理、看護教育論、看護管理論、コンサルテーション論）のうち３科目以上は、必ず履修する。

令和５年度　一宮研伸大学開示情報

５．学位授与数

本学の学位授与数は以下のとおりです。

学部等の名称	平成元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
看護学部	※１	８０人	９６人	８４人
看護学研究科	※２	※２	※２	※２

※１平成２９年４月１日付け開学のため、学位の授与実績なし

※２令和５年４月１日付け開学のため、学位の授与実績なし

（令和５年５月１日現在）

令和５年度　一宮研伸大学開示情報

６．就職先の情報（就職実績＜過去３年分＞）

学部等の名称	都道府県名	病院名等 （順不同）
看護学部	愛知県内	社会医療法人大雄会、社会医療法人宏潤会大同病院、春日井市民病院、JA 愛知厚生連江南厚生病院、一宮市立市民病院、日本赤十字社 愛知医療センター名古屋第一病院、独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院、社団法人日本海員掖済会名古屋掖済会病院、JA 愛知厚生連海南病院、稲沢市民病院、社会医療法杏嶺会一宮西病院、愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院、藤田医科大学岡崎医療センター、愛知県がんセンター病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院、名古屋大学医学部附属病院、名古屋市立大学医学部附属西部医療センター、名古屋市立大学医学部附属 東部医療センター、名古屋市立緑市民病院、北医療生活協同組合北病院、国家公務員共済組合連合会名城病院、独立行政法人労働者健康安全機構中部ろうさい病院、小牧市民病院、公立陶生病院、JA 愛知厚生連豊田厚生病院、あいち小児保健医療総合センター、半田市立半田病院、社会医療法人財団新和会八千代病院、医療法人医仁会さくら総合病院、愛知医科大学病院、名古屋市立大学病院、名古屋記念病院、愛知県厚生農業協同組合連合会渥美病院、愛知県厚生農業協同組合連合会稲沢厚生病院、医療法人豊田会刈谷豊田総合病院、公立西知多総合病院、国立研究開発法人国立長寿医療研究センター、医療法人偕行会城西病院、社会福祉法人聖霊会 聖霊病院、津島市民病院、医療法人医誠会東春病院、独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター、名古屋徳洲会総合病院、名古屋セントラル病院、藤田医科大学病院、藤田医科大学ばんたね病院、トヨタ記念病院、南医療生活協同組合病院南生協病院、独立行政法人 地域医療機能推進機構 中京病院、社会医療法人志聖会総合犬山中央病院、みなと医療生活協同組合 協立総合病院、医療法人資生会 八事病院、特定医療法人 泰玄会病院、蒲郡市民病院

令和５年度　一宮研伸大学開示情報

学部等の名称	都道府県名	病院名等 （順不同）
看護学部	岐阜県	大垣市民病院、独立行政法人国立病院機構 長良医療センター、岐阜大学医学部附属病院、市立恵那病院、社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院、社会医療法人厚生会木沢記念病院、羽島市民病院、公立学校共済組合 東海中央病院、地方独立行政法人 岐阜県総合医療センター
看護学部	三重県	桑名市総合医療センター、三重県立志摩病院、地方独立行政法人三重県立総合医療センター
看護学部	その他	国家公務員共済組合連合会東京共済病院、社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス海老名総合病院、金沢医科大学病院、順天堂大学医学部附属浦安病院、四街道徳洲会、独立行政法人労働者健康安全機構中国労災病院、国家公務員共済組合連合会立川病院、医療法人社団明芳会 横浜新都市脳神経外科病院、社会医療法人財団 石心会　川崎幸病院、日本赤十字社　大阪赤十字病院、医療法人宝生会　PL 病院
看護学研究科	※	※

※令和５年４月１日付け開学のため、就職実績なし

（令和５年５月１日現在）

令和５年度　一宮研伸大学開示情報

７．進学先の情報（進学実績＜過去３年分＞）

学部等の名称	都道府県名	人数
看護学部	愛知県	４名
看護学部	岐阜県	３名
看護学部	その他	２名
看護学研究科	※	※

※令和５年４月１日付け開学のため、進学実績なし

（令和５年５月１日現在）

令和５年度　一宮研伸大学開示情報

七　校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること。

１．校地・校舎等の施設その他の学生の教育研究環境

（キャンパスの概要、運動施設概要及びその他の学修環境、主な交通手段）

１）校地・校舎等の施設（法人保有施設等も含む）

各種講義室	教員研究室	実習室Ａ
実習室Ｂ１，Ｂ２	実習室Ｃ	実習室Ｄ
院生共同研究室	マルチメディア教室	体育室
図書館	学生ラウンジ	常願通グラウンド
長島グラウンド	男女更衣室	学生食堂
きわみホール	保健休養室	その他（管理部門等）

（令和５年５月１日現在）

２）施設の耐震化率

１号館	２号館	３号館	４号館	その他
耐震化済	耐震化済	耐震化済	耐震化済	耐震化済

（令和５年５月１日現在）

２．主な交通手段

１）尾張一宮駅、名鉄一宮駅からの交通アクセス

名鉄バス３番乗り場から「宮田本郷」行、「川島」行のどちらかで「中島通一丁目」下車（所要時間約１０分）。徒歩４分。

２）バス以外の通学方法

・自動車通学可

・バイク通学可

・自転車通学可（学生利用可駐輪場　約２８０台）

※駐車場は各自確保してください。学内への乗り入れはできません

令和５年度　一宮研伸大学開示情報

八　授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること。

１．看護学部の授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用

試験種別	１年次		２年次以降	
	前期	後期	前期	後期
入学金	200,000 円	－	－	－
授業料	340,000 円	340,000 円	340,000 円	340,000 円
教育充実費	200,000 円	200,000 円	200,000 円	200,000 円
実験実習費	200,000 円	200,000 円	200,000 円	200,000 円
小計	940,000 円	740,000 円	740,000 円	740,000 円
合計	1,680,000 円		1,480,000 円	

※助産師課程選択者は３年次１０万円、４年次２０万円の実験実習費が追加で必要となります。

（令和５年５月１日現在）

２．看護学研究科の授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用

試験種別	１年次		２年次	
	前期	後期	前期	後期
入学金	150,000 円	－	－	－
授業料	400,000 円	400,000 円	400,000 円	400,000 円
教育充実費	100,000 円	100,000 円	100,000 円	100,000 円
小計	650,000 円	500,000 円	500,000 円	500,000 円
合計	1,150,000 円		1,000,000 円	

（令和５年５月１日現在）

３．看護学研究科の授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用（長期履修生）

試験種別	１年次		２年次		３年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
入学金	150,000 円	－	－	－	－	－
授業料	280,000 円	280,000 円	280,000 円	280,000 円	240,000 円	240,000 円
教育充実費	70,000 円	70,000 円	70,000 円	70,000 円	60,000 円	60,000 円
小計	500,000 円	350,000 円	350,000 円	350,000 円	300,000 円	300,000
合計	850,000 円		700,000 円		600,000 円	

（令和５年５月１日現在）

令和５年度　一宮研伸大学開示情報

九　大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること。

１．学生の修学に係る支援

１）アドバイザー制

アドバイザー制とは、アドバイザーと呼ばれる教員が、少人数の学生を担当し、定期的に学生と面接を実施して、履修計画や学修および学生生活で必要な指導・相談を行う制度でのことです。アドバイザーは必要に応じて家族に連絡を取り、学生・教員（２人）・家族の３者間で面談を実施します。

学生は、アドバイザー以外の自分が相談しやすい他の教員に、卒業後の進路選択（進学・就職）等について自主的に相談することもできます。

２）履修登録・変更の方法に関する相談窓口

履修登録・変更などの方法については、学修ガイダンスを参照して、まず自分で調べ、不明な点があれば、学務課に相談してください。なお、学務課への相談は、事務局の受付時間（８：５０～１７：１５）内に行ってください。

３）授業の内容に関する質問

授業に関する質問は、各科目の担当教員に対して行ってください。内線電話（設置場所：事務局前・4 号館 2 階）またはメールを利用して教員に連絡し、アポイントメントを取ってください。なお、教員研究室の区域に学生が立ち入ることはできません。

４）オフィスアワーの活用

科目の担当教員が学生個々の学修上の質問や相談に応じるための時間を、オフィスアワーといいます。オフィスアワーは各科目のシラバスに提示されています。

２．進路選択に係る支援

進路選択に係る支援については、「キャリア形成論」の中で、教員の看護分野（保健師、助産師、看護師、専門看護師）を学生に紹介する授業を実施している。

また、令和元年度にキャリアサポート室を立ち上げ、これまでの看護師教育の確かな実績と医療機関等からの信頼をもとに、就職・進学を徹底してサポートしている。インターンシップを含む就職活動の施策の企画・立案実施や病院対応及び求人開拓を行っている。

３．心身の健康等に係る支援

本学では学生が安心して大学生活を送るためのさまざまな取り組みを行っています。学生生活でのちょっとした心配事から疑問まで、誰に相談したら良いのか迷った時も、まず学務課を訪ねてください。

４．学生支援の取組

１）学修支援

学修に意欲的に取り組みたい人や勉強の仕方がわからない人や学修面での不安を抱えている人の相談先を紹介しています。

２）キャンパスライフ支援

学生生活を有意義にするため、本学では学生の意見を募集しています。気軽に事務局前の意見箱に投書して下さい。

３）健康支援

心身の健康に不安のある人や健康診断の結果について相談したい人の相談先を紹介しています。学校保健安全法に準じて、毎年４月に定期健康診断を実施しています。学生はこの健康診断を必ず受けなければなりません。やむをえない理由により受けられない場合は、自費で医療機関を受診して、本学で実施する健康診断項目の結果を記載した診断書を提出しなければなりません。インフルエンザ対策として流行期には希望者に予防接種も実施(自己負担)しています。

また、健康診断結果により、個々の学生に対して学校看護師による健康指導を行います。保健休養室は３号館にあります。病気、負傷等の場合は応急処置が受けられます。学務課に連絡して下さい。

学生生活の中で、不安や迷い等がある時、イライラしたり憂鬱な時は、アドバイザーへの相談のほか、学生相談室で心理カウンセラーによる相談を受けることができます。原則、週１回実施していますが、これ以外でも受け付けています。

５．修学資金に係る支援特待生制度・奨学金等について

１）特待生制度について

１年前期分については、入学式の成績優秀者に対して、授業料の全額又は半額の免除を行います。１年後期分以降については、半期ごとに各年次の前学期の学業優秀者（GPA の上位者）により審査します。

２）日本学生支援機構（JASSO）

奨学金とは、経済的理由で修学が困難な優れた学生に学資の貸与を行い、また、経済・社会情勢等を踏まえ、学生等が安心して学べるよう「給付」または「貸与」する制度です。奨学金には、「給付型」の奨学金と「貸与型」奨学金があります。

（１）定期採用（新規申し込み者）

「給付型」奨学金（高等教育の修学支援新制度）

経済的理由で大学への進学をあきらめないよう、2020 年４月から進学・進級する学生に対して、給付奨学金の対象者が広がりました。

世帯収入の基準を満たしていれば、成績だけで判断せず、しっかりとした「学ぶ意欲」があれば支援を受けることができます。

また、給付型奨学金の対象となれば、授業料・入学金が免除または減額されます。

「貸与型」奨学金

人物・学業ともに優れ、かつ健康であって経済的に困っていることにより、著しく修学が困難であると認められた場合に利用できる制度です。

令和５年度　一宮研伸大学開示情報

奨学金の種類	貸与月額
第一種【無利子貸与】	＜自　宅＞最高 5.4 万円　＜自宅外＞最高 6.4 万円
第二種【有利子貸与】	2 万円から 12 万円(1 万円刻み)
入学時特別増額【有利子貸与】	10 万円から 50 万円(10 万円刻み)

区分	授業料 入学金減免	給付奨学金支給額		給付奨学金受給中の 第一種奨学金貸与月額	
		自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
第 1 区分	3/3 免除	38,300 円	75,800 円	0 円	0 円
第 2 区分	2/3 免除	25,600 円	50,600 円	0 円	0 円
第 3 区分	1/3 免除	12,800 円	25,300 円	21,700 円	19,200 円

令和５年度　一宮研伸大学開示情報

６．看護学部の教育上の目的に応じ学生が習得すべき知識、及び能力に関する情報
（履修モデルの設定、主要科目の特徴、科目ごとの目標等）

１）履修モデルの設定

看護学部のカリキュラムは、看護師及び助産師の資格取得を目指し、保健師助産師看護師学校養成所指定規則に基づいた履修モデルが設定されている。

２）主要な科目概要（抜粋）

教養科目群	心理学 人間と社会の仕組みに関する社会心理学（人間関係）及び発達心理学を中心に、心理学領域の諸理論を学ぶ。『エリクソンの発達段階』の概念を基本に、子どもの健やかな成長、青年、成人、高齢者における発達とは何か、人の発達はどのようなものか、発達段階別の特徴とともに、発達を阻害する要因及び発達を促すための支援についても理解する。これらの学びから、人間理解を深め、良好な人間関係を築くための自己と人間関係のあり方を考察する。
連携科目群	教養ゼミナール 本科目では、大学における学修に必要なレポートの文章構成（例：序論・本論・結論）、文章表現、図表の効果的な作成方法、文献表記などの基本的な表現方法を学ぶ。少人数グループでの討論を通して、関心のあるテーマ見つけ深めながら、レポート作成の過程（文献検索・収集、文献の読み方、エビデンスの質の見分け方、レポートの作成、発表や討論）を経験する。これらの学修を通して、基本的な学修スキルを身につけるとともに、大学における学修への意欲を高める。
専門基礎科目群	生化学 人間の生命、身体の維持、食物の体内での利用過程などをはじめとする生命活動における生体中の生化学的機能とその仕組みについて学修する。具体的には、 (1)生命体としての人体を概観し、細胞複製及び細胞を構成する各種成分の役割、(2)人体を構成する臓器の機能がどのように発揮されているか、(3)タンパク質、アミノ酸、糖質、脂質の代謝経路、及び代謝異常と遺伝病の発症メカニズムについて学ぶ。

令和５年度　一宮研伸大学開示情報

専門科目群	基礎看護学Ⅰ（看護学概論） 保健医療福祉の分野において、看護職の果たす役割の理解を深めるために、看護の概念、機能について学修する。看護の歴史的変遷を理解し、現在の看護職の責務を理解し、これからの発展的可能性を考察する。クリティカルシンキング、効果的な看護技術を活用した計画的な看護実践の意義を理解する。看護の基本となる用語や概念、方法について学修する。
助産師課程 専門科目群	助産管理論 助産業務の管理および助産師外来や院内助産を含めた助産所の管理運営の基本に関する理解を深め、助産師業務を評価・調整する基礎的な能力を養う。また、周産期医療を取り巻く助産管理の実際と課題（医療事故防止とその対応、災害時の看護等）を様々な助産活動の場を通して理解する。

７．看護学研究科の教育上の目的に応じ学生が習得すべき知識、及び能力に関する情報（履修モデルの設定、主要科目の特徴、科目ごとの目標等）

１）履修モデルの設定

各専攻分野において、履修モデルが設定されている。

２）主要な科目概要（抜粋）

共通科目	地域創成ケアシステム論 団塊世代が 75 歳以上になる 2025 年以降の高齢社会に向けて、急性期から回復期、在宅医療に至るまで、地域全体で切れ目なく必要な医療や介護が提供される「地域完結型医療」（地域包括ケアシステム）が目されている。地域包括ケアシステム構築に向けた、保健医療行政の動向とともに、地域の病院や地域在宅の連携システムの現状と今後の方向性について学ぶ。
専門科目	がん療養生活支援看護学特論Ⅰ がんとともに生きている人とその家族は、健康レベルの変化で、本来の生活の場(居宅)の地域だけでなく、病院・施設などの多様な場で療養生活を送っている。対象者の療養の場について、地域包括ケアシステムや多職種との連携・協働を踏まえたうえで、対象者が主体的に健康課題に取り組むために必要な理論・概念を学び、新たな方略の創造に繋がる能力を培うための看護実践能力、教育・研究能力を養う。
研究科目	看護学特別研究 各専門領域において、履修生自身が興味関心のある研究課題を見出し、主体的に文献検討、研究計画書および研究倫理審査書類作成等に取り組めるよう導き、研究の実施、修士論文作成、発表等への一連の研究指導を行う。

令和５年度　一宮研伸大学開示情報

十　その他、本学の教育研究情報で学長が公開を必要と認めること。

１．留学生数及び海外派遣学生数

本学の留学生数は以下のとおりです。

なお、在学生数に対する留学率は０％です。

学部等の名称	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
看護学部	０人	０人	０人	０人
看護学研究科	※未開設	※未開設	※未開設	※未開設

（令和５年５月１日現在）

本学の海外派遣学生数は以下のとおりです。

なお、在学生数に対する海外派遣率は０％です。

学部等の名称	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
看護学部	０人	０人	０人	０人
看護学研究科	※未開設	※未開設	※未開設	※未開設

（令和５年５月１日現在）

２．海外の協定相手校

学部等の名称	協定相手校
看護学部	令和５年５月１日現在　なし
看護学研究科	令和５年５月１日現在　なし

（令和５年５月１日現在）

３．社会貢献活動(FD・SD 委員会)

実施年度	活動名	概要
令和２年度	公開講座	新型コロナウイルス感染症の影響を受け実施なし
令和３年度	公開講座	脳卒中の予防と退院後の生きがいづくり
令和４年度	公開講座	禁煙と健康について（仮） ※令和４年１０月１５日（土）への実施に向けて検討中
令和５年度	公開講座	混迷の時代をより良く生きる

（令和５年５月１日現在）

４．大学間連携

大学間連携
愛知学長懇話会、ＩＤＥ大学協会へ加入

（令和５年５月１日現在）

５．産官学連携

産官学連携
令和５年５月１日現在　なし

（令和５年５月１日現在）

令和５年度　一宮研伸大学開示情報

十一　寄附行為の内容の公開

最新の寄附行為を一宮研伸大学ホームページ上で公開している。

十二　監事の監査報告書の内容の公開

各年度の事業報告書内で公開している。

十三　財産目録、貸借対照表及び収支計算書の公開

各年度の事業報告書内で公開している。

十四　事業報告書の公開

各年度で取りまとめ、一宮研伸大学ホームページ上で公開している。

十五　役員名簿（理事・監事及び評議員の氏名）の公開

一宮研伸大学ホームページにて公開している。

十六　役員報酬等の支給の基準

役員の報酬等の支給の基準は、「学校法人研伸学園　役員及び評議員の報酬等規程」及び「学校法人研伸学園　役員の退職金規程」に基づき支給されている。

令和５年度　一宮研伸大学開示情報

学校法人研伸学園　役員及び評議員の報酬等規程

（目的）

第１条　この規程は、学校法人研伸学園（以下「学園」という。）寄付行為第５条に定める理事及び監事の職にある役員及び第２１条に定める評議員の報酬等に関し必要な事項を定めることを目的とする。

（報酬等）

第２条　役員及び評議員の報酬とは、役員及び評議員に支給する給与等をいう。

２　役員給与支給額は理事長が決定する。

３　役員及び評議員の交通費は次のとおりとする。ただし、交通費の額を超える場合は実費を支給する。

会議出席交通費　　１日　５，０００円

（支給対象者）

第３条　給与の支給は、常勤理事・監事のみとし、非常勤理事・監事には理事会等出席時に交通費のみ支払うこととする。

（給与非支給者）

第４条　常勤理事・監事であっても本学園の専任職員として給与の支給を受ける役員及び評議員には給与を支給しない。

（改廃）

第５条　この規程の改廃は、理事会の議を経て理事長が定める。

附　則

この規程は、平成２８年５月２６日から施行する。

学校法人研伸学園　役員の退職金規程

（目的）

第１条　この規程は、学校法人研伸学園（以下「学園」という。）の寄附行為第５条に規定する役員の退職金支給に関する事項を定める。

（適用範囲）

第２条　この規程は、学園の常勤の理事並びに監事（以下「役員」という。）に適用する。

（退職金の支給）

第３条　常勤理事が退職したときは､本人に死亡による退職の場合はその遺族に支給する。 ただし、職員として学園退職金規程の適用を受ける場合は、役員退職金は支給しない。

２　非常勤役員には、退職金は支給しない。

（退職金の支給制限）

第４条　次の各号の一に該当すると理事会が決議した場合は、退職金は支給しない。

一　懲戒による罷免

二　禁固以上の刑に処せられたことによる退職

（退職金の支払方法）

第５条　退職金は､本人又は遺族の指定した金融機関の預金口座への銀行振込により支給する。

（退職金の額）

第６条　退職金の額の計算は、学園退職金規程に準ずる。

（特別功労金）

第７条　特別の功労があった役員には、理事会の決議をもって功労金を支給することができる。

（退職金の支給時期）

第８条　退職金は、原則として、退職の日から１ケ月以内に支給する。

（改廃）

第９条　この規程の改廃は、理事会の議を経て行うものとする。

附　則

この規程は、平成２８年５月２６日から施行する。

令和５年度　一宮研伸大学開示情報

十七　その他、法人の情報で理事長が必要と認めること。（内部質保証推進会議）

17-1. 自己点検・評価結果

開学７年目を迎え、内部質保証推進会議において、自己点検評価書の準備を進めている。

17-2 認証評価の結果

令和５年度に大学機関別認証評価を受審する予定である。